

3:1 また、サルディスにある教会の御使いに書き送れ。『神の七つの御霊と七つの星を持つ方が、こう言われる——。わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。

3:2 目を覚まし、死にかけている残りの者たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。

3:3 だから、どのように受け、聞いたのか思い起こし、それを守り、悔い改めなさい。目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。わたしがいつあなたのところに来るか、あなたには決して分からない。

3:4 しかし、サルディスには、わずかだが、その衣を汚さなかった者たちがいる。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩む。彼らがそれにふさわしい者たちだからである。

3:5 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。またわたしは、その者の名をいのちの書から決して消しはしない。わたしはその名を、わたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。

3:6 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

「生きているとは名ばかりで実は死んでいる」とは、信仰の状態を意味しているのでしょうか。イエス様の十字架を信じて受け入れた者は、永遠の命があるのですから、生きた者のはずですが、ヤコブ書には「行いのない信仰は死んでいる」とも書かれています。自分自身の信仰に行いが伴っているか、考えてみる必要があります。

また命あるものは成長するのですから、自分は成

長しているか、また謙遜に成長を願っているかを考えてみる必要があります。

それらが無いのは、自分自身の信仰や人格が”全うされた”と勘違いしているからでしょう。主はそのように「見てはいない」と言われます。主は盗人のように、すなわち知らぬ間に来られるのですから、成長を求めなかったことを悔い改めて目を覚ましていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

